

Lombardia-Brescia VSQ

## Divella Alessandra ディヴェッラ アレッサンドラ

型に囚われない自由な発想とストレートな自己表現、フランチャコルタの土地に生まれた新しい感性。



ロンバルディア州ブレーシア、DOCG フランチャコルタと言えば、広く知られている高品質スパークリングワインの生産地域。フランチャコルタの生産地域の東側にあるグッサーゴの町で、2012年よりスタートした造り手アレッサンドラ ディヴェッラ。ブレーシアの町で生まれ育った彼女、ワイン造りへの憧れは驚くほど早く、幼少期から自分でワインを造りたいと思っていたそうです。そして2010年、20歳という年齢で2haのブドウ畑を購入。醸造学校には行かず、近隣のワイナリーで働きながら学び、自分の造りたいワインへのイメージを膨らませていたと語るアレッサンドラ。「自分が造りたいワインは、きっと醸造学校では教えてもらえないと思ったから、。」



グッサーゴとチェラーティカの間位置する標高350mの畑。フランチャコルタ協会に入ればフランチャコルタを名乗ることができる土地だが、今まで一度も考えたことは無いと言います。氷河の影響を受けた西側と違い、強烈な粘土質と石灰質を持った素晴らしい土地。豊かな土壌環境があるからこそそのノンドサージュ、そう言っても過言ではありません。畑にはシャルドネを中心にピノネーロが植樹されており、一部スキアーヴァなど以前のオーナーが植えたブドウも残っています。彼女が手に入れる以前4~5年間は放棄されていたため、その間農薬や化学肥料が使用されておらず、動植物や菌類など、自然のバランスが戻りつつある環境でした。アレッサンドラの考える栽培理念は、「限りなく土地への介入を減らす」事。これまでの8年間、ただの一度も土地を耕耘したことは無く、雑草についても基本切ることがない。冬の剪定と初夏の誘引、収穫以外極力手を加えたくないと話すアレッサンドラ。雑草はブドウ樹を包み隠すほどに伸びた場合のみ、樹の周りだけ軽く切る。ピオディナミのように自然を尊重しつつも、土地自体の力を高めようというものは違い、自然環境を最大に尊重した栽培方法といえます。もちろんのことながら、このような栽培方法では収穫量は見込めません。現在でも2haの畑からたった6000本という少なすぎる生産量ですが、今の彼女にとっては十分な量だと言います。華奢な彼女が、たった一人で栽培から醸造まで行うには、今の量が限界。「一人で暮らすにはこれで十分！ただもう少しブドウがあれば、もっといろんな挑戦ができるんだけど、。」そう話すアレッサンドラ、まだまだ試したいことが沢山あると嬉しそうに話します。



初めからフランチャコルタに興味がないと話していたアレッサンドラ。しかし、ブレーシアで生まれ育った彼女にとって、スプマンテの存在が特別であり、その魅力に取りつかれている事には間違いありません。彼女の求めているものはフランチャコルタという名前ではなく、グッサーゴという土地、ブドウの表現。そしてそれ以上の存在を見ている、と言ったほうがいいのかもかもしれません。

ブドウの収穫は周囲の生産者よりもやや早い、これはブドウの完熟を無視しているというよりは、果実そのもののフレッシュ感を意識しての事、そして強い酸も同等に大切。その絶妙なバランスを見極めるために、収穫は樹ごとに見極め5~6回に分けて収穫するという徹底ぶり。手間はかかるものの、これも体力的に自信のない彼女が一人で作業するための理にかなった方法。このバランスを持ったブドウは、除梗せずごく僅かな圧でプレスする。果皮との接触は意識していないが、長い時間をかけて圧搾することで初期醗酵を促していることにもなります。



そして、彼女が何よりも尊重しているのが原酒。圧搾したモストは、温度コントロールしないのは当然で、酵母や SO2 さえも添加することなく、セメントタンクにて自然に醗酵を行う。そのため醗酵が終わるまでに 1~2 か月という時間を費やしてから、木樽(古バリック)での熟成。原酒が出来上がるまでに 1 年以上の歳月をかける。そして木樽で熟成することで、果実そのものの味わいだけでなく、一部はあえて強く空気と触れさせることを意識しており、酸化熟成による香りの幅の広がりをも得る。ティラージュに用いるのは極僅かな糖分(サウキビ由来)と酵母を加えて瓶内 2 次醗酵。ベースであるブランド ブランで 24 か月、初リリースとなるブランド ノワールでは 60 か月オリと共に熟成期間を取る。そして SO2 は一度も加える事がないというこだわり。

そして、原酒の豊かさと果実を最大限表現するため、すべてのワインにおいてドサージュ一切行いません。というよりは、行う必要がないほどの原酒のクオリティが高い、そう言ったほうが正しいのかもしれない。

誰かに言われる訳でなく、最良のワイン造りを求め、誰よりも最短距離を駆け抜けるような彼女の研ぎ澄まされた感性。まだ 28 歳という若さと、一見造り手には見えないほど華奢な彼女、しかし、ワインへのこだわりと信念はまるで熟練の造り手と全く変わりがない、むしろ柔軟な発想には驚かされることの方が多いかもしれません。素晴らしいセンスと強いこだわり、若くも多大な魅力を持った造り手の一人です。



## Divella Gussago ディヴェッラ グッサーゴ

ロンバルディアアープレーシャークッサーゴ

※T=ティラージュ、ボトル詰め年を示しています

ワイン名	ヴィンテージ	種類	容量/入荷数	メモ
<b>Blanc de Blancs</b> <b>Dosaggio Zero</b> ブランド ブランドサッジョ ゼロ	<b>(20)</b> T21※	白泡	750ml	シャルドネ 100%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せず低圧力でプレス、セメントタンクにて醗酵。古バリックにて約 9 か月の熟成。全体の 10%にあたるリザーヴワイン(3 年以上バリックで熟成した、複数ヴィンテージをブレンド)、微量の糖分、酵母を加えて瓶内 2 次醗酵。そのまま 30 か月オリと共に熟成。オリ抜き(デゴルジュマン)は 24 年 1 月。ドサージュ(糖分、リキュール添加)を行わず SO2 も添加しないスパマンテ。今回より単一のヴィンテージ表現をしつつも、熟成による複雑さや奥行きを与えようと試みて、少しリザーヴワインを加えたロット。これまでのブランドブランの良さ、特徴はそのままに、奥行きや丸み、味わいの幅を感じます。
<b>Blanc de Noirs</b> <b>Dosaggio Zero</b> ブランド ノワール ドサッジョ ゼロ	<b>(19)</b> T20	白泡	750ml	ピノ ネーロ 100%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せず自重で出るモストフィオーレ(フリーランジュース)のみ、古バリックにて醗酵。そのまま約 9 か月の熟成。微量の糖分、酵母を加えて瓶内 2 次醗酵。そのまま 42 か月、オリと共に熟成。ドサージュ(糖分、リキュール添加)を行わず SO2 も添加しないスパマンテ。ドサージュを必要としない十分な酒質、幅の広い複雑な香り、今まで以上に美しい酸と奥行き、もう言葉が要らない美しさ、、、もはやフランチャコルタとは全く違う、素晴らしい、美しさをもったスパマンテ。徹底的にこだわり抜いたピノ ネーロより造られるディヴェッラのミレジムキュヴェ。
<b>Dady VDR</b> <b>Dosaggio Zero</b> ダディ ドサッジョ ゼロ	<b>(19)</b> T20	白泡	750ml	シャルドネ 100%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せず低圧力でプレス、木樽にて醗酵。古バリックにて約 9 か月の熟成。4 つのバリックのうち、1 つは 4 年以上ウイヤーージュ(補酒)せずに熟成したものを加えている。微量の糖分(サウキビ由来)、酵母と共に瓶内 2 次醗酵。そのまま 42 か月オリと共に熟成。デゴルジュマンの後、原酒を足すのみ。ドサージュ(糖分、リキュール添加)も SO2 も一切添加しないスパマンテ。酸化熟成を施したリザーヴワインを加えたことで、これまでにはなかった線の太さ・味わいの濃さ・複雑味を表現。アレックスサンドラが慕う叔母(Danielle ダニエル)をオマージュした新しいスパマンテ。

<b>Ni Ni VDR</b> <b>Dosaggio Zero</b> ニーニ ドサッジョ ゼロ	<b>(19)</b> T20	白泡	<b>750ml</b>	<p>シャルドネ 50%、ピノ ネーロ 50%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せず低圧力でプレス、木樽にて醗酵。古バリックにて約 9 か月の熟成。</p> <p>4 つのバリックのうち、1 つは 4 年以上ウイヤーージュ(補酒)せずに熟成したものに加えている。微量の糖分(サトウキビ由来)、酵母と共に瓶内 2 次醗酵。そのまま 42 か月オリと共に熟成。デゴルジュマンの後、原酒を足すのみ。ドサーージュ(糖分、リキュール添加)も S02 も一切添加しないスプマンテ。アレックスサンドラが慕う父(Agostini アゴスティーニ)のオマーージュとして造られるスプマンテ。</p>
<b>Clo Clo VDR</b> <b>Dosaggio Zero</b> クロ クロ VDR ドサッジョ ゼロ	<b>(19)</b> T20	ロゼ泡	<b>750ml</b>	<p>ピノ ネーロ 100%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せず低圧力でプレス、時間をかけることで色づいたモストを木樽に移し、自発的な醗酵、そのまま古バリックにて約 9 か月の熟成。4 つのバリックのうち、1 つは 4 年以上ウイヤーージュ(補酒)せずに熟成したものに加えている。微量の糖分(サトウキビ由来)、酵母と共に瓶内 2 次醗酵。そのまま 42 か月オリと共に熟成。デゴルジュマンの後、原酒を足すのみ。ドサーージュ(糖分、リキュール添加)も S02 も一切添加しないスプマンテ。アレックスサンドラが慕う母(Claudia クローディア)のオマーージュとして造られるスプマンテ。</p>
<b>Solera Dossaggio Zero</b> ソレラ ドサッジョ ゼロ	<b>2°</b> <b>Edizione</b> <b>(14-19)</b> T20	白泡	<b>750ml</b>	<p>シャルドネ 100%、樹齢 30 年。2014~2019 までの収穫より、小規模ながらソレラシステムを用いて積み重ねられたキュヴェ。途中ウイヤーージュは行わず、酸化熟成の状態も保っている。昨年に続く 2 度目のリリース、バリック 1 樽分のみ。2020 年にテイラーージュを行いビン内二次醗酵、シュールリーの状態で 42 カ月の熟成。デゴルジュマンは 2024 年 1 月に行い、原酒を足すのみ。ドサーージュ(糖分、リキュール添加)も S02 も一切添加しないスプマンテ。</p> <p>シャルドネのみ、同じ土地から生まれる年の個性と、醗酵~熟成の過程で起きる現象による変化、そのすべてを合わせ一つの形に表現したアレックスサンドラのインスピレーションを具現化した特別なキュヴェ。</p>
<b>Nere' Dossaggio Zero</b> ネーレ ドサッジョ ゼロ	<b>1°</b> <b>Edizione</b> <b>(14)</b> T15	白泡	<b>750ml</b>	<p>ピノ ノワール 100%、樹齢 30 年。2014 年の収穫。ブランドノワールの区画より収穫したブドウであったものの、雨が多く冷涼なヴィンテージ。原酒の時点でブランドノワールとして考えられなかったため、リリースを見送った。ただバリック半分程度を 2015 年、実験的にテイラーージュしビン内二次醗酵。96 か月間シュールリーにて熟成。デゴルジュマンは 24 年 1 月、原酒を足すのみ。ドサーージュ(糖分、リキュール添加)も S02 も一切添加しないスプマンテ。当時、原酒が納得のいくレベルではなかったものの、瓶の中でオリとともに成長し、これまでに体感したことのないピノ ノワールの力強さと輪郭、物質的な強さと繊細な香りが共存。アレックスサンドラ自身、想定していなかった驚きの味わいを見せたスプマンテ。</p>
<b>Rose de Saignee</b> <b>Dosaggio Zero</b> ロゼド セニエ ドサッジョ ゼロ	<b>17</b>	ロゼ泡	<b>750ml</b>	<p>ピノ ネーロ 100%、樹齢 30 年。収穫後、除梗せずにピジャージュを行い、約 12 時間のマセレーション(果皮浸漬)を行った後、プレスせず自重で出るモストのみ古バリックにて醗酵。そのまま約 9 か月の熟成。微量の糖分、酵母を加えて瓶内 2 次醗酵。そのまま 54 か月、オリと共に熟成。ドサーージュ(糖分、リキュール添加)を行わず S02 も添加しないスプマンテ。</p>